



2025年12月1日

慶應義塾大学 SFC 研究所

ワタキューホールディングス株式会社

慶應義塾大学 SFC 研究所・ワタキューホールディングス株式会社が 介護負担軽減のための共同研究を開始

慶應義塾大学 SFC 研究所（神奈川県藤沢市、所長：仰木 裕嗣 政策・メディア研究科 教授）と、ワタキューホールディングス株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：村田 清和）は、共同研究として「介護保険外サービスのプラットフォーム化による高齢者、家族介護者、ケアマネージャー等の負担軽減に関する効果検証」を開始します。研究代表者は、社会疫学・医療経済学を専門とする慶應義塾大学総合政策学部専任講師の佐藤 豪竜です。

在宅高齢者の増加に伴い、生活援助等の介護保険外サービスのニーズが高まっています。本研究は、在宅高齢者に対して介護保険外サービスを提供する事業者探しにおいて、プラットフォーム上のマッチングという新たなアプローチを行うことで、高齢者や家族介護者、ケアマネージャーの身体的・精神的な負担がどの程度軽減するのか検証することを目的としています。

本研究では、参加する高齢者に対して、「タノシルバ」という介護保険外サービスのマッチングサービスが提供されます。「タノシルバ」は、ワタキューホールディングス株式会社と株式会社CaSy（本社：東京都品川区、代表取締役：加茂 雄一、東京証券取引所グロース市場／証券コード：9215）が出資して設立した株式会社タノシルバ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：大谷 幸平）が提供する新たなマッチングサービスです。

研究参加者の募集は、2025年12月から開始します。対象者は、高齢者100名、家族介護者100名、ケアマネージャー50名を予定しています。厳密なランダム化比較試験を実施することで、介護保険外サービスのマッチングサービスが介護負担をどの程度軽減するのか検証します。

お問い合わせ先

慶應義塾大学総合政策学部専任講師
佐藤 豪竜 koryus@keio.jp

ワタキューホールディングス株式会社
wh-kenkyu@watakyu.co.jp

慶應義塾大学 SFC 研究所について

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスは、1990 年に開設され、その後 30 年以上にわたり、慶應義塾の根幹の 1 つである実学を推進する「未来を創る大学」として、未来を切り拓く「問題発見・解決」を中心軸に据えながら、「知の再編」も先導してきました。SFC 研究所は、その湘南藤沢キャンパスにおける教育・研究活動と、産官学および国内外の関連活動との双方向の協調関係を育みながら諸科学協調の立場から先端的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的としています。

ワタキューホールディングス株式会社について

ワタキューホールディングス株式会社は、京都府京都市に本社を置く、医療・福祉・健康関連の総合サービスを提供する企業グループの持株会社です。創業は1872年（明治5年）という歴史を持つ企業グループであり、約 50 社の事業会社を通じて、医療機関や福祉施設などにおける様々なサービスをトータルで支援しています。さらに、在宅で暮らす高齢者や子育て世代を支援するサービスも展開し、皆さまの暮らしと健康を多角的に支えています。

株式会社タノシルバについて

株式会社タノシルバは、介護保険外サービスを中心とした総合的なサービスプラットフォーム「タノシルバ」を提供する会社です。LINE を使って日常生活や暮らしの悩みの相談をすると、それぞれのお悩みや困りごとに合わせてサービスをご提案。利用申込みや日程調整、決済まで「タノシルバ」からワンストップで行えます。高齢者ご本人はもちろん、支援するすべて方にも幅広くご利用いただけるサービスを通して「誰かに頼る」を当たり前にする社会を目指しています。

研究代表者・佐藤 豪竜(さとう こうりゆう)について

経済学博士、公衆衛生学修士。専門は社会疫学・医療経済学。東京大学経済学部を卒業後、厚生労働省に入省。保険局、老健局、総理大臣官邸等で 12 年間社会保障政策の企画立案に携わる。ハーバード大学に留学後、京都大学を経て、現職。